

# 1. 調査結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成19年11月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2072800804
法人名	有限会社 創生活環境運営
事業所名	ひだまりの里とよしな
所在地	長野県安曇野市豊科高家782-2 (電話) 0263 - 71 - 5539

評価機関名	特定非営利活動法人アイネットSAKUMA		
所在地	長野県松本市大字芳川小屋508番地3		
訪問調査日	平成19年11月5日	評価確定日	平成19年11月30日

## 【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	6人, 非常勤 4人, 常勤換算 6.2人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円他	
敷 金	有(195,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,350 円	

### (4) 利用者の概要(平成19年10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護 1	1名	要介護 2	4名			
要介護 3	3名	要介護 4	1名			
要介護 5			要支援 2			
年齢	平均	86.6 歳	最低	80 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	このうの内科循環器科/飯田歯科医院/野中眼科医院・安曇野日赤病院
---------	----------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

旧高家小学校跡地に隣接した場所にグループホームはある。同グループ運営の通所介護集皆所ひだまり・子育て支援育(そだち)が隣接しており、異年齢の交流も日常生活の一部である。共有の庭に置かれた椅子にて寛ぐ利用者の脇を育の乳児がよちよち歩く様子を、利用者は楽しそうに笑いながら暖かい目で見つめる。理念にある大家族的な雰囲気を実践されている。施設は木を中心に使われ、暖かさを感じ、採光も良い。リビングを中心に各部屋が繋がっている。利用者も落ち着いた雰囲気の中ゆっくりと自分のペースで過ごされている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 市町村との連携の強化に向けて、安曇野市役所の担当課との連携に取組まれている。ケアカンファレンスを開催し利用者の状況の把握に努め、介護計画を作成している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 状況・課題を素直に正確に把握しています。より重点化しての取り組みを期待します。職員の勉強会を開催されて理解に努められた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議を定期的(6・11月)に開催され、職員の主体性を尊重し、報告・提案・協議による問題解決に取り組んでいます。その会議の効果の結果から、地域の防災訓練へ施設を対象拠点として訓練を行う事が出来た。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族からは高い評価と感謝が寄せられています。家族の意見・運営への反映、苦情・不安の排除への前向きな取組など施設としての機能が十分に発揮されています。この維持の努力を期待します。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 医療機関との連携の強化、防災活動の協力関係に向上がありました。 普段の生活は近隣の方から野菜などの提供・ゴミステーション当番参加など自然体に取り組まれています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域・家族・職員の連携により、利用者と共に支え合いながら、生活しうる環境を整えるという理念で実践されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の共有を意識しながら実践されている。自己啓発カード等を使い、振り返り・確認し、理念の共有できるよう取り組んでいる。		今後も新規職員には丁寧に継続的に理念の共有に向けて指導しつつ、現任職員へも振り返り・確認し、理念の実施に取り組んで頂く事を望みます。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会主催の敬老会へ招待され参加した。地域の方から隣接する畑の野菜を提供頂く等自然体の交流をされている。		地域の福祉関連団体等の連携・協力も取り組んで頂く事を期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の評価を基に改善を進めている。特に医療連携体制の強化は特筆される。又継続的な取り組みも図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を定期的（6月11月）に開催し、具体的にテーマを出し、協議を行い、情報の共有と改善を進めた。この運営推進会議の他に事業所として各経験者（学識者・会計士・行政書士・自治体職員等）から構成される会議を持っている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>現在は具体的な活動には至っていないが、市の担当者とのコンタクトを取り始めている。</p>		<p>今後の継続を望みます。まず出来る事からはじめ、徐々に具体的な活動について協力関係を構築する事を期待します。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族向けには毎月のお便りにて伝え、急ぎの事に関しては電話又は手紙にて対応している。来所頂く家族へは施設での写真等を提示し、日常の表情を見て貰っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情・相談記録には、深刻な内容の記述は今のところ無かった。家族会等を活用し、意見を言いやすい環境づくりをされている。</p>		<p>施設に対して利用者家族は高い評価をされています。その維持を継続される事を望みます。今後もオープンな体制は続けてください。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>施設運営上の必要から異動等あったが、声かけ等の配慮がなされ、利用者への影響はなかった。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>長期（5年）・採用時（1年）研修プログラムを作成し、計画的に取り組まれている。また自己啓発カードの活用によるOJTや自己啓発も推進している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>松本圏域グループホーム連絡会を作り積極的に施設運営や職員の資質的向上に取り組んでいる。（相互評価や交換実習の実施）</p>		<p>連絡会を育てると共に大いに活用して行く事を望みます。職員にとっては、外を見る良い機会であると共に、他施設の従業者と交流する事による相乗効果も望めると思います。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>現在は事前利用などの、本人が安心して、納得した上でサービスを利用する体制にはなっていないものの、入所後は十分な対応に心がけている。</p>		
<b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と利用者は普段の生活を共にするという事が施設の方針の1つであり、自然体である。利用者から職員が学ぶという姿勢を意図的に取り入れられている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の話・行動などに注意し、観察する事によりその変化等に配慮している。また、職員相互の情報交換を行っている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアカンファレンス開催時に、各職員が関係情報を出し、共有し合い、課題を提起し介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に、又利用者の変化等に対応して介護計画を見直している。</p>		<p>P-D-Cサイクル「計画（PLAN） 行動（DO） チェック（CHECK）」の短期化について検討し、サービスの質的向上と効率化に取り組んで頂く事を期待します。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族等の状況の変化に対応じて、暖かく的確な対応をされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診支援は利用者・家族の希望を踏まえつつ支援を行っている。協力医など医療機関との受診結果についてはお便りにて家族に伝えている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い時期から医師等含めてカンファレンスを行っている。利用者・家族の意向を尊重し、その対応について職員も共有している。		利用者個々への対応やその方針の変化について、全員が共有している。今後、重度化や終末期に向けた一層の取組に期待します。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を大切にしたりやさしさと個人情報の保護に留意している。利用者間でのプライバシーの侵害が無い様注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設側の都合による対応もあると自ら認識しつつ、最大限に利用者のペースを大切に支援している。		個々の利用者の健康面・安全面の配慮が優先する事も考えられます。ケース・バイ・ケースでの的確な判断を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しむ環境づくりの支援を実践されている。職員と一緒に下準備をするなど、会話を楽しみながら会食をされ、職員と協力しながら利用者は片付けされていた。年齢等に関係なくおいしい味付けに配慮されていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の好みや状況に対応して楽しい入浴になるよう声かけやタイミングの調整をしながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の希望等を踏まえながら、楽しみを知り、買い物・散歩・外食等への対応を支援している。		個々の利用者と全員とのバランスの中で可能な範囲での支援を期待します。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・ドライブ・外食等希望に沿って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	原則として全て開放している。安全確保には常に注意している。		

ひだまりの里とよしな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地域での全戸避難訓練に施設として参加している。(施設を訓練対象場所としてされた)地域の方々の理解と協力関係を築かれている。</p>		<p>新規採用時・新規利用者への再確認や訓練の必要性を検討頂くと共に、毎月、体制の再確認を行うなど取り組む事を期待します。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事は毎食、状況を把握している。状況に応じ、処置を講ずると共に記録している。水分摂取にも個々に留意している。</p>		<p>よく水分確保は1日1500mlと言われます。水分制限をされている方は別としますが、食事・おやつなどから全量摂取出来る様に工夫して取り組んでください。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は明るく清潔で、落ち着いた雰囲気を作っている。壁には利用者の作品、日常や行事などの写真で飾られアットホームな居心地の良い空間になっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の好みにて配置をされ、利用者本位の居室になっている。時には家族の協力も得られている。</p>		

 は、重点項目。